

日本災害看護学会 令和6年能登半島地震活動報告

2024年2月10日(土)

活動隊員：(午前) 増野園恵、藤田さやか
(午後) 朝田和枝、野原正美

1. 活動日時

2024年2月10日(土) 0時~24時

2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校(石川県珠洲市大谷町1字78番地)

避難所使用者数 35人(一時避難者あり) 22世帯

3. 石川県の被害状況(2月8日14:00時点 内閣府情報)

人的被害 死者:241人 負傷者:1,182人

住家被害 全壊・半壊・一部損壊:18,478棟

4. 天候(2月10日時点 NHKニュース)

曇りのち雪(時々雨) 最高気温8℃ 最低気温-3℃

5. 活動の実際

6:00 救護班エリアにて記録物確認、ホットタオル配布

6:30 起床者にホットタオル配布 検温 健康状態の聞き取り

7:00 起床時間 ↓

7:30 朝食(配膳・下膳)

8:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

9:00 ラジオ体操 換気

環境整備(床掃除:モップ、掃除機、キッズスペースの拭き掃除)

9:30 引き継ぎ資料まとめ。A地区集会所及び在宅避難者訪問、情報収集。

11:00 物資整理

12:00 後続隊への引き継ぎ

12:30 昼食(配膳、下膳)

13:30 東京 JMAT の巡回。避難所使用者に関して情報共有。

14:00 JRAT の巡回

15:00 体操 館内の清掃、換気

15:30 記録、環境整備

16:30 珠洲市保健医療調整本部よりダンボールベッドの在庫確認 →残19であることを報告

17:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

18:00 夕食(配膳、下膳)

19:00 大谷小中学校本部関係者 meeting、換気

20:00 健康状態の聞き取り

21:00 消灯、適宜対応

22:00 報告書作成

6. 支援活動と課題

【被災者への生活支援と健康支援】

- 起床された方からホットタオルを配布し検温・健康観察を実施。発熱者なし。本日から連休になるため、多くの世帯が一時退所している。
- 避難所の環境整備終了後、昨日巡回した A 地区の要経過観察者 1 名（80 代独居男性）の自宅を訪問した。体調は問題なく、ちょうど災害復旧作業が完了し、電気が開通した。昨日提供した物資も喫食できている様子であった。
- 昨日、下肢浮腫について相談を受けていた男性が A 地区集会所におられたため確認したところ、左下肢のみ著明に浮腫を認め、足を引き摺って歩く様子があった。この土日にエコノミークラス症候群予防検診が珠洲市内の避難所で実施となるため、チラシを手渡し、受診を勧めた。
- 避難所の物資担当者より、特に生理用品や介護用品などの物資整理の依頼があった。災害対策本部から、返却の必要がある物資のリストアップをするように連絡があったとのこと。2次避難から避難者が戻ってくる可能性も鑑みて、倉庫内の該当物資の仕分けを行った。
- 休日で校内に残っている避難者は比較的少なかったが午後も体操などを実施した。

【課題】

- 大谷地区周辺においても電力が復旧し、危険性が伴いながらも自宅にて生活している住民も増えている様子である。A 地区集会所ではエコノミークラス症候群が疑われる住民も確認されており、在宅避難者など、避難所以外に住まう方に対しても巡回を定期的に行うなど、取り残されることがないように支援も検討していく。
- 住民の中には食事や排泄に困難を抱えながらも、周囲への遠慮から自宅での生活を選択されている方もおられる様子である。健康状態の悪化がないよう、生活環境のフォローや見守りについては継続が必要である。
- 周辺で不審者の目撃情報も出ている様子である。ボランティア活動を希望して直接避難所を訪れるケースなどもあるようで、その都度避難所の管理者が対応している現状がある。活動においては防犯の面でも十分に留意して活動していく。

【活動の様子】



写真 1：大谷小中学校までの道路状況

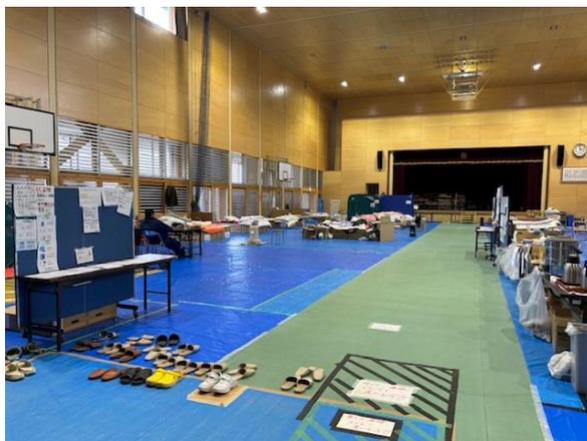


写真 2：避難所内の様子